

『核医学安全基礎読本② 核医学安全のための科学知識と技術スキル』

正誤表 補遺 2

標記書籍（2019年10月1日 第一版 第1刷）に誤りがございました。2021年4月16日付正誤表（補遺）に以下を追加・訂正いたします。

頁・行	誤	正
目次 xxiv 下から4行目、152 ページ 1 行目、431 ページ H 項目下から1行目	Hemtopoietic	Hematopoietic
156 ページ上から6行目～7行目	熱力学的放射能中央径（Activity Median Aerodynamic Diameter：AMTD）	熱力学的放射能中央径（Activity Median Thermodynamic Diameter：AMTD）
156 ページ上から8行目	空気力学的放射能中央径（AMAD）	空気力学的放射能中央径（Activity Median Aerodynamic Diameter：AMAD）
157 ページ上から6行目、同ページ図 IV-23 中、158 ページ上から3行目	m_{jt}	$m_{j,i}$
157 ページ図 IV-23 中、158 ページ上から3行目	$m_{jt}(t)$	$m_{j,i}(t)$
310 ページ上から10行目～13行目	体内に取り込まれた放射性同位元素による内部被ばくの時点から放射線作業従事者に対し50年間、一般公衆に対し70歳に達するまでの期間における線量率の積分値の総和とした預託線量として推測される。	体内に取り込まれた放射性同位元素による内部被ばくの時点から放射線作業従事者および成人に対し50年間、子供や乳幼児に対し70歳に達するまでの期間における線量率の積分値の総和とした預託線量として推測される。
310 ページ表 V-27 題字	f_l	f_1